

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学年	1年生	担当教員	阿部/高橋	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	136単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				授業の進め方・学習方法・課題 リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため 毎日単語チェックを行う。 また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ 問題を解くように促す。 対面授業と遠隔授業の併用実施		
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	坂上 / 小林	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	136単位時間	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%  【成績評価基準】 A＝秀（100－90点） 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B＝優（89－80点） 達成目標を十分に達成している C＝良（79－70点） 到達目標を達成している D＝可（69－60点） 到達目標を最低限達成している E＝不可（59点以下） 到達目標に達成していない  対面授業と遠隔授業の併用実施				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	坂上 / 小林 / 寺田 / 皆川	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	136単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Meeting people	自己紹介をする
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	Meeting people	自己紹介をする
学 年	1年生	担当教員	Mark Permer / Sara	3	Talking about Interests	趣味について
科 目 名	Speaking I	時間数	68単位時間	4	Talking about Interests	趣味について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Talking about Family	家族について
使用テキスト名	Talk a Lot 1			6	Talking about Family	家族について
補助教材				7	Talking about People	民族について
				8	Talking about People	民族について
科目概要と科目到達目標				9	Talking about Work	仕事に就いて
英語であいさつや自己紹介、身の回りのことや出来事を伝えることができる。 また、聞き取ることができる。				10	Talking about Work	仕事に就いて
				11	Talking about Past Experiences	過去の経験について
				12	Talking about Past Experiences	過去の経験について
				13	前期のまとめ①	
				14	前期のまとめ②	
授業の進め方・学習方法・課題				15	試験	
「話す」「書く」「読む」「聞く」の4技能を取り入れて授業を行うが、 特に「話す」と「聞く」のペア、グループワークを集中的に行う。 講師とは一方的にならないようコミュニケーションを図りながら進めていく 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	前期振り返り	
				17	Talking about Sports	スポーツについて
				18	Talking about Sports	スポーツについて
				19	Talking about other Countries	国について
				20	Talking about other Countries	国について
評価方法・成績評価基準				21	Talking about Experiences	経験について
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Talking about Experiences	経験について
				23	Talking about Places	観光地について
				24	Talking about Places	観光地について
				25	Travei English Part	観光英語について
				26	Travei English Part	観光英語について
				27	Talking about Japanese Things	日本文化について
				28	Talking about Japanese Things	日本文化について
				29	後期のまとめ①	
				30	後期のまとめ②	
				31	試験	
実務経験教員の経歴				32	試験振り返り	
				33	English Speech①	自分のことについてのスピーチ発表
				34	English Speech②	自分のことについてのスピーチ発表

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚え、正しい発音を身に付ける
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつ	自己紹介ができる あいさつができる
学 年	1年生	担当教員	李貞華・桑野	3	初級1:2課 物の名前について	物の名前を覚える
科 目 名	韓国語Ⅰ(コミュニケーション)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 日常生活	自分の日常について話せる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 場所について	場所について話せる
使用テキスト名	韓国語と韓国文化初級1・初級2			6	初級1:5課 日時について	日時を話せる
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 日課	一日の日課が話せる
科目概要と科目到達目標				8	初級1:7課 注文する	店で料理が注文できる
				9	初級1:8課 買い物する	買い物ができるようになる
韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し会話中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	初級1:9課 週末について	先週末のことが話せる
				11	初級1:10・11課 家族紹介・特別な日	家族が紹介できる。特別な日について話せる
				12	初級1:12課 休みについて	休暇計画について話せる
				13	初級1:13課 交通手段	交通便の問い合わせができる
				14	初級1:14・15課 約束・天気	約束ができる。天気について話せる
				15	初級1:16課 病院	症状が言えるようになる
授業の進め方・学習方法・課題 授業は韓国語ネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。				16	初級1:17・18課 公共場所・韓国生活	公共場所での禁止行為、韓国生活について話せる
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 故郷について	故郷が紹介できる
				19	初級2:2・3課 家事・買い物	家事と買い物について話せる
				20	初級2:4課 電話	電話での表現を学ぶ
				21	初級2:5課 薬局	薬局で薬が買える
評価方法・成績評価基準  ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	初級2:6課 気持ちと感情	感情が表現できる
				23	初級2:7課 招待・訪問	友人を招待できるようになる
				24	初級2:8課 韓国語授業	韓国語の授業について感じたことを話せる
				25	初級2:9課 外食	グルメ紹介ができる
				26	初級2:10課 道案内	道が案内できる
				27	初級2:11課 祝祭日	韓国の祝祭日について話せる
				28	初級2:12課 ミスと経験	自分の経験が言える
				29	初級2:13課 郵便局と銀行	宅急便が送れる。口座が開設できる
				30	初級2:14課 公共機関	公共機関で書類提出ができる
				31	初級2:15課 仕事について	職業について話せる
実務経験教員の経歴				32	初級2:16・17課 イベント・健康	イベントについて話せる。健康について話せる
				33	初級2:18課 文化生活	文化センターの講座について話せる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 主語・助詞・叙述	基本品詞について学ぶ
学 年	1年生	担当教員	李貞華・金	3	初級1:2課 助詞・存在表現	存在有無の表現について学ぶ
科 目 名	韓国語Ⅰ(文法)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 敬語・目的語	簡単な敬語と目的語について学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 助詞・移動	移動表現を学ぶ
使用テキスト名	韓国語と韓国文化初級1・初級2			6	初級1:5課 日時・否定	日時表現・否定表現を学ぶ
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 時間・否定	時間表現・否定表現を学ぶ
科目概要と科目到達目標 韓国語と韓国文化初級1・初級2使用し文法中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				8	初級1:7課 意思表示・命令刑	意思表示表現・命令表現について学ぶ
				9	初級1:8課 並列・書き言葉	並列表現・簡単な書き言葉表現を学ぶ
				10	初級1:9課 過去形・補足説明	過去形・補足説明について学ぶ
				11	初級1:10・11課 敬語・逆接・提供	敬語・逆接・提供の表現を学ぶ
				12	初級1:12課 予定・並列	予定について表現できる
				13	初級1:13課 手段・目的	手段と目的の表現について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題 授業は韓国語ネイティブとノンネイティブが交互に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				14	初級1:14・15課 約束・提案・不可能・比較	約束・提案・不可能・比較表現を学ぶ
				15	初級1:16課 因果表現	因果表現を学ぶ
				16	初級1:17・18課 方向・禁止・確認・対照	方向・禁止・確認・対照表現について学ぶ
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 紹介	故郷が紹介できる
				19	初級2:2・3課 意思・試行	自分の意思が表現できる
評価方法・成績評価基準  ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	初級2:4課 可能刑・砕けた言葉遣い	可能刑表現・砕けた言い方について学ぶ
				21	初級2:5課 仮定・順次	仮定・順次進行表現を学ぶ
				22	初級2:6課 推測・感情	感情が表現できる
				23	初級2:7課 勧誘・因果	勧誘表現・因果表現を学ぶ
				24	初級2:8課 順番・決定	動作の順番・決定表現について学ぶ
				25	初級2:9課 推測	推測の表現を学ぶ
				26	初級2:10課 逆接・原因	逆接・原因表現を学ぶ
				27	初級2:11課 同時進行	2つの動作を同時に行う際に使う表現を学ぶ
				28	初級2:12課 経験・傾向	自分の経験が言える
				29	初級2:13課 意図・義務	意図と義務表現を学ぶ
				30	初級2:14課 許可	許可をもらう
				31	初級2:15課 進行形	進行形表現を学ぶ
実務経験教員の経歴				32	初級2:16・17課 理由・願望	理由と願望表現を学ぶ
				33	初級2:18課 アドバイス	アドバイスができるようになる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつの文章を読む	自己紹介とあいさつが読める
学 年	1年生	担当教員	張・金	3	初級1:2課 物の名前についての文章を読む	物の名前が読める
科 目 名	韓国語 I (読解)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 日常生活についての文章を読む	日常についての文が読める
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 場所についての文章を読む	場所についての文が読める
使用テキスト名	韓国語と韓国文化初級1・初級2			6	初級1:5課 日時についての文章を読む	日時についての文が読める
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 日課についての文章を読む	一日についての文が読める
<b>科目概要と科目到達目標</b> 韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し読解中心の授業を行う。 看板や簡単な案内文、家族や故郷など周りのことを表す文章を理解することができる。				8	初級1:7課 注文についての文章を読む	注文についての文が読める
				9	初級1:8課 買い物についての文章を読む	買い物についての文が読める
				10	初級1:9課 週末についての文章を読む	先週末のことについての文が読める
				11	初級1:10・11課 紹介・特別な日の文を読む	家族・特別な日の紹介分が読める
				12	初級1:12課 休みについての文章を読む	休暇計画についての文が読める
				13	初級1:13課 交通手段についての文章を読む	交通便の問い合わせの文が読める
				14	初級1:14・15課 約束・天気についての文を読む	約束ができる。天気についての文が読める
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 授業は韓国語ネイティブとノンネイティブが交互に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	初級1:16課 病院についての文章を読む	症状についての文が読める
<b>評価方法・成績評価基準</b> ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	初級1:17・18課 公共場所・韓国生活の文を読む	禁止行為・韓国生活についての文が読める
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 故郷についての文章を読む	故郷についての文が読める
				19	初級2:2・3課 家事・買い物についての文章を読む	家事についての文が読める
				20	初級2:4課 電話についての文章を読む	電話についての文が読める
				21	初級2:5課 薬局についての文章を読む	薬に関する文が読める
				22	初級2:6課 気持ちと感情についての文章を読む	感情についての文が読める
				23	初級2:7課 招待・訪問についての文章を読む	友人の招待文が読める
				24	初級2:8課 韓国語授業についての文章を読む	韓国語の授業の感想文が読める
				25	初級2:9課 外食についての文章を読む	グルメ紹介文が読める
				26	初級2:10課 道案内についての文章を読む	道案内のパンフレットが読める
				27	初級2:11課 祝祭日についての文章を読む	韓国の祝祭日についての文が読める
				28	初級2:12課 ミスと経験についての文章を読む	経験についての文が読める
				29	初級2:13課 郵便局と銀行についての文章を読む	郵便局・銀行についての文が読める
				30	初級2:14課 公共機関についての文章を読む	書類提出についての文が読める
				31	初級2:15課 仕事についての文章を読む	職業についての文が読める
				<b>実務経験教員の経歴</b>		
				33	初級2:18課 文化生活についての文章を読む	文化センターの講座についての文が読める
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字	文字を覚える
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	初級1:1課 自己紹介とあいさつを聞き取る	自己紹介とあいさつが聞き取れる
学 年	1年生	担当教員	李垠姫・朴	3	初級1:2課 物の名前について聞き取る	物の名前が聞き取れる
科 目 名	韓国語 I (聴解)	時間数	51単位時間	4	初級1:3課 日常生活について聞き取る	日常についての文が聞き取れる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	初級1:4課 場所について聞き取る	場所についての文が聞き取れる
使用テキスト名	韓国語と韓国文化初級1・初級2			6	初級1:5課 日時について聞き取る	日時についての文が聞き取れる
補助教材	韓国語と韓国文化ワークブック初級1・初級2			7	初級1:6課 日課について聞き取る	一日についての文が聞き取れる
科目概要と科目到達目標				8	初級1:7課 注文について聞き取る	注文についての文が聞き取れる
				9	初級1:8課 買い物について聞き取る	買い物についての文が聞き取れる
韓国語と韓国文化初級1・初級2を使用し聞き取り中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				10	初級1:9課 週末について聞き取る	先週末のことについての文が聞き取れる
				11	初級1:10・11課 紹介・特別な日について聞き取る	家族・特別な日の紹介分が聞き取れる
				12	初級1:12課 休みについて聞き取る	休暇計画についての文が聞き取れる
				13	初級1:13課 交通手段について聞き取る	交通便の問い合わせの文が聞き取れる
				14	初級1:14・15課 約束・天気について聞き取る	約束ができる。天気についての文が聞き取れる
				15	初級1:16課 病院について聞き取る	症状についての文が聞き取れる
授業の進め方・学習方法・課題 授業は韓国語ネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	初級1:17・18課 公共場所・韓国生活について聞き取る	禁止行為・韓国生活についての文が聞き取れる
				17	前期試験	
				18	初級2:1課 故郷について聞き取る	故郷についての文が聞き取れる
				19	初級2:2・3課 家事・買い物について聞き取る	家事についての文が聞き取れる
評価方法・成績評価基準				20	初級2:4課 電話について聞き取る	電話についての文が聞き取れる
				21	初級2:5課 薬局について聞き取る	薬に関する文が聞き取れる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	初級2:6課 気持ちと感情について聞き取る	感情についての文が聞き取れる
				23	初級2:7課 招待・訪問について聞き取る	友人の招待文が聞き取れる
				24	初級2:8課 韓国語授業について聞き取る	韓国語の授業の感想文が聞き取れる
				25	初級2:9課 外食について聞き取る	グルメ紹介文が聞き取れる
				26	初級2:10課 道案内について聞き取る	道案内のパンフレットが聞き取れる
				27	初級2:11課 祝祭日について聞き取る	韓国の祝祭日についての文が聞き取れる
				28	初級2:12課 ミスと経験について聞き取る	経験についての文が聞き取れる
				29	初級2:13課 郵便局と銀行について聞き取る	郵便局・銀行についての文が聞き取れる
				30	初級2:14課 公共機関について聞き取る	書類提出についての文が聞き取れる
				31	初級2:15課 仕事について聞き取る	職業についての文が聞き取れる
実務経験教員の経歴				32	初級2:16・17課 イベント・健康について聞き取る	イベントや健康管理についての文が聞き取れる
				33	初級2:18課 文化生活について聞き取る	文化センターの講座についての文が聞き取れる
				34	後期試験	



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	序論の書き方①	序論の使い方を理解する
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	序論の書き方②	序論を書く
学 年	1年生	担当教員	平山美果	3	本論の書き方①	本論の使い方を理解する
科 目 名	韓国語文章表現 I	時間数	17単位時間	4	本論の書き方②	本論を書く
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	結論の書き方①	結論の使い方を理解する
使用テキスト名	外国人のための韓国語作文基礎			6	結論の書き方②	結論を書く
補助教材	TOPIK試験対策 作文			7	結論の書き方③	結論を書く
				8	作文①	テーマに沿った文章を書くことができる
科目概要と科目到達目標				9	作文②	テーマに沿った文章を書くことができる
初中級の語彙と文法を用いて分かりやすい文章を書いて表現することができる				10	作文③	テーマに沿った文章を書くことができる
				11	作文④	テーマに沿った文章を書くことができる
				12	作文⑤	テーマに沿った文章を書くことができる
				13	作文⑥	テーマに沿った文章を書くことができる
				14	まとめ①	
				15	まとめ②	
授業の進め方・学習方法・課題				16	学期末試験(作文)	
授業の始めにディクテーションを行い、文章のリズムを身に付ける。 各授業の学習単元を講義し、その後実際に作文を書き、提出する。 提出した課題を添削し、作文能力を養う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	振り返り	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	ハングル能力検定 初級 必須単語習得	初級単語の把握と暗記				
学年	1年生	担当教員	朴仁智/平山美果/中林幸恵/李珉延/金相範	2	ハングル能力検定 初級 必須文法解説	初級文法の把握と理解				
科目名	韓国語検定対策 I	時間数	68単位時間	3	ハングル能力検定 初級 文章読解問題解説	初級文章問題の理解				
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認				
使用テキスト名	TOPIK I II 完全対策 ハングル能力検定過去問題集			5	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認				
補助教材	HOT TOPIK I II			6	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK初級 単語習得①	ハングル能力検定の振り返り				
<b>科目概要と科目到達目標</b> 6月、11月実施のハングル能力検定と7月、10月実施の韓国語能力試験(TOPIK)の2種類の検定対策。 1年次終了までにハングル能力検定3級とTOPIK3級の取得を目指す。 ハングル能力検定では読解、聴解の2科目のため、①語彙、②文法、③読解、④聴解の授業、 韓国語能力試験は読解、聴解、作文の3科目のため、①語彙、②文法、③読解、④聴解、作文の授業を行う				7	TOPIK 初級 単語習得②	初級単語の把握と暗記				
				8	TOPIK 初級 必須文法解説①	初級文法の把握と理解				
				9	TOPIK 初級 必須文法解説②	初級文法の把握と理解				
				10	TOPIK 初級 必須文法解説③	初級文法の把握と理解				
				11	TOPIK 初級 読解問題解説①	初級文章問題の理解				
				12	TOPIK 初級 読解問題解説②	初級文章問題の理解				
				13	TOPIK 初級 聴解問題解説①	初級聴解問題の理解				
				14	TOPIK 初級 聴解問題解説②	初級聴解問題の理解				
				15	TOPIK 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認				
				16	TOPIK 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認				
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 4月～6月はハングル能力試験対策。6月～7月はTOPIK対策という様に試験実施日によって 対策授業内容を変えて行う。また、1年次2年次合同に授業を行い各検定の級別にクラス分けをする。  対面授業と遠隔授業の併用実施				17	TOPIK試験振り返り/ハングル能力検定中級 必須単語習得	TOPIK振り返り				
				18	ハングル能力検定 中級文法解説①	中級文法の把握と暗記				
				19	ハングル能力検定 中級文法解説②	中級文法の把握と暗記				
				20	ハングル能力検定 中級 読解解説①	中級文章問題の理解				
				21	ハングル能力検定 中級 読解解説②	中級文章問題の理解				
				22	ハングル能力検定 中級 聴解解説①	中級聴解問題の理解				
				23	ハングル能力検定 中級 聴解解説②	中級聴解問題の理解				
				24	ハングル能力検定 過去問題 模試①	合格点の把握と実力確認				
				25	ハングル能力検定 過去問題 模試②	合格点の把握と実力確認				
				26	ハングル能力検定 過去問題 模試③	合格点の把握と実力確認				
<b>評価方法・成績評価基準</b>  ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	ハングル能力検定 振り返り / TOPIK中級 単語習得①	ハングル検定振り返り				
				28	TOPIK 中級 単語習得②	中級単語の把握と暗記				
				29	TOPIK 中級 必須文法解説①	中級文法の把握と暗記				
				30	TOPIK 中級 必須文法解説②	中級文法の把握と暗記				
				31	TOPIK 中級 読解問題解説①	中級文章問題の理解				
				32	TOPIK 中級 読解問題解説②	中級文章問題の理解				
				33	TOPIK 中級 聴解問題解説①	中級聴解問題の理解				
				34	TOPIK 中級 聴解問題解説②	中級聴解問題の理解				
				<b>実務経験教員の経歴</b>						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	韓国文化入門	韓国の基本情報を理解する
学年	1年生	担当教員	桑野知実	2	韓国人の名前	韓国人の名前について学ぶ
科目名	韓国社会と文化	時間数	51単位時間	3	北朝鮮について	北朝鮮と韓国の関係について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	韓国の家族呼称	韓国特有の家族呼称を学ぶ
使用テキスト名	外国人のための韓国文化			5	韓国の物価	韓国の物価の現状について学ぶ
補助教材	POWERPOINT SLIDE			6	韓国のスポーツ①	韓国の国民的スポーツについて
科目概要と科目到達目標 衣食住、大衆文化を中心に韓国の基本的な文化、またはその背景を学び、理解することができる 現代社会が抱える問題を理解する。ニュースや新聞での表現方法や新語・流行語を学ぶ。				7	韓国のスポーツ②	韓国のオリンピックについて
				8	秋夕	韓国の秋夕の意味や仕来りについて
授業の進め方・学習方法・課題 パワーポイントを使用し、一部講義形式で授業を展開する。 映像も使用し、生の韓国語に触れられるよう工夫する。 また毎時間、学生が気になる韓国語文化について発表し、 発表の仕方や情報収集方法、着眼点なども身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	韓服	韓服の意味や着付けについて
				10	韓国映画①	韓国の映画文化について
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	韓国映画②	韓国映画鑑賞
				12	韓国歌謡①	韓国歌謡の歴史について学ぶ
実務経験教員の経歴				13	韓国歌謡②	韓国歌謡を視聴し傾向を学ぶ
				14	食事のマナー①	韓国の食事マナーを理解する
				15	食事のマナー②	韓国の食事マナーを理解する
				16	韓国の食文化	韓国の食文化について理解を深める
				17	前期まとめ	
				18	キムチ	キムチの種類やキムチ文化を学ぶ
				19	韓国の公休日	韓国の公休日について学ぶ
				20	ソウルについて①	ソウルの基本情報について学ぶ
				21	ソウルについて②	ソウルの観光名所について学ぶ
				22	韓国の観光地について①	観光地の基本情報について
				23	韓国の観光地について②	名産品について学ぶ
				24	辞書にない韓国語①	俗語について理解する
				25	辞書にない韓国語②	流行語について理解する
				26	韓国語メール作成①	ハングルのキーボード打ちを学ぶ
				27	韓国語メール作成②	韓国語でよく使うメールでの言い回しを学ぶ
				28	韓国の方言①	韓国方言の基本情報について学ぶ
				29	韓国の方言②	韓国方言の使用方法を学ぶ
				30	在日コリアン①	在日コリアンについて理解を深める
				31	在日コリアン②	在日コリアンについて理解を深める
				32	韓国の詩	韓国の詩の特徴や表現方法
				33	後期のまとめ	
				34	文化に関するレポート作成	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	平音・激音	平音・激音の理解
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	激音・濃音	激音・濃音の理解
学 年	1年生	担当教員	朴仁智	3	有声音化①	有声音化の発音習得
科 目 名	韓国語発音セミナー	時間数	34単位時間	4	有声音化②	有声音化の発音習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	連音化①	連音化の発音習得
使用テキスト名	韓国語の発音変化完全マスター			6	連音化②	連音化の発音習得
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	流音化①	流音化の発音習得
				8	流音化②	流音化の発音習得
科目概要と科目到達目標				9	激音化①	激音化の発音習得
韓国の基本的な発音を理解し、習得する。				10	激音化②	激音化の発音習得
				11	弱音化①	弱音化の発音習得
				12	弱音化②	弱音化の発音習得
				13	無音化①	無音化の理解
				14	無音化②	無音化の理解
				15	濃音化①	濃音化の発音習得
授業の進め方・学習方法・課題				16	前期のまとめ	
授業前半は講義形式で行い韓国語特有の発音変化を中心に講義し、発音変化を理解させる。 後半には、理解した発音変化を実際に発音できるよう反復練習を行う。 遠隔授業のみ実施				17	前期試験	
				18	濃音化②	濃音化の発音習得
				19	口蓋音化①	口蓋音化の発音習得
				20	口蓋音化②	口蓋音化の発音習得
評価方法・成績評価基準				21	鼻音化①	鼻音化の発音習得
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	鼻音化②	鼻音化の発音習得
				23	鼻音化③	鼻音化の発音習得
				24	疑問文	疑問文の抑揚
				25	勧誘文①	勧誘文の抑揚と発音
				26	勧誘文②	勧誘文の抑揚と発音
				27	命令文①	命令文の抑揚と発音
				28	命令文②	命令文の抑揚と発音
				29	感嘆文①	感嘆文の抑揚と発音
				30	感嘆文②	感嘆文の抑揚と発音
				31	文の抑揚①	文の抑揚の違い
実務経験教員の経歴				32	文の抑揚②	文の抑揚の違い
				33	後期のまとめ	
				34	後期 試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学 年	1年	担当教員	坂上/マークマリン/桑野/金	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科 目 名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なかを学ぶ
学年	1年生	担当教員	古沢 通子	2	異文化コミュニケーション① ～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
科目名	異文化理解	時間数	17単位時間	3	異文化コミュニケーション② ～自文化への気付き	自分を振り返る
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	異文化コミュニケーション③ ～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			5	異文化コミュニケーション④ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材	POWERPOINT SLIDE			6	異文化コミュニケーション⑤ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
科目概要と科目到達目標 異文化比較と異文化理解を深め多様性社会への対応力を高める				7	文化・文明の衝突① ～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突② ～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				9	文化・文明の衝突③ ～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				10	文化・文明の対話① ～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題 授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ 授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い 問題解決を模索する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				11	文化・文明の対話② ～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③ ～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
評価方法・成績評価基準				13	文化・文明の対話④ ～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤ ～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				15	文化・文明の対話⑥ ～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
				16	文化・文明の対話⑦ ～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	期末試験	
				18		
実務経験教員の経歴				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1課 韓国での就職活動 語学成績・留学経験	韓国で就職活動をする時に使う表現を学ぶ
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	2課 韓国での面接準備 勤務経験・語学能力表現	韓国で面接する時に使う表現を学ぶ
学年	1年生	担当教員	金相範/張鳳仙	3	3課 部署と肩書 説明表現	韓国会社での部署名・肩書について学ぶ
科目名	ビジネス韓国語I	時間数	34単位時間	4	4課 社内挨拶 入社時の挨拶・お礼としての挨拶	韓国会社での社内挨拶表現を学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	振り返り①	
使用テキスト名	すぐ学んですぐ使えるビジネス韓国語1			6	5課 社内勤務 書類提出	韓国会社での書類提出する際に使う表現を学ぶ
補助教材	すぐ学んですぐ使えるビジネス韓国語2			7	6課 日常生活 経験について	自分の経験についてのビジネス表現を学ぶ
科目概要と科目到達目標				8	7課 業務連絡 電話でのやりとり	韓国会社での電話の業務連絡ができるようになる
				9	8課 有休 意向・許可	有給休暇の許可などの表現について学ぶ
ビジネスシーンでよく使う言い回し、お客様を案内するフレーズや電話応対、会社訪問、ビジネスメール等を学ぶ。 目上の方や上司、取引先相手に失礼のないようコミュニケーションをとることができる。韓国、中国のビジネスマナーを理解する。				10	振り返り②	
				11	9課 顧客対応 案内	顧客からの電話や、顧客が来社した時に使う表現を学ぶ
				12	10課 会議 お願い・提案	韓国会社の会議で使う表現を学ぶ
				13	11課 出張 出張費請求・マーケットリサーチ	出張の時に使う表現を学ぶ
				14	12課 報告 動向・報告書	直接報告する時・報告書を書く時に使う表現を学ぶ
				15	振り返り③	
授業の進め方・学習方法・課題 文法や語彙の解説の後、必ずロールプレイを行う。 いろんなビジネスシーンで使用できるよう様々なタスクを用意する。 毎回授業の後半にパソコンと携帯で韓国語が使えるように練習し、自由自在に使えるようになる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	韓国語でのパソコンスキル習得状況の個別チェック	
				17	期末試験	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに、何故メイクするのか？授業進度・評価方法について	授業を進めるにあたっての基本ルールの理解
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	2	自己紹介・メイクについて絡ませながら自己紹介・自分流メイク	これまでの自分のメイクについて
学年	1年生	担当教員	加藤広美	3	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクについての理解
科目名	リクルートメイク実習 I	時間数	34単位時間	4	接客業メイクについて 業種別メイク	ビジネスメイクについての理解
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	メイク方法 下地についての実習
使用テキスト名	なし			6	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	メイク方法 ベースについての実習
補助教材	なし			7	顔立ちからのメイク方法 ・眉	メイク方法 眉についての実習
				8	顔立ちからのメイク方法 ・目	メイク方法 アイメイクについての実習
科目概要と科目到達目標				9	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	メイク方法 アイホールについての実習
就職活動面接の際に良い印象を持たせ、高感度の高いメイクを目指す。				10	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	メイク方法 アイホールについての実習
				11	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	メイク方法 アイラインについての実習
				12	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	メイク方法 チークについての実習
				13	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	メイク方法 鼻筋メイクについての実習
				14	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 目	ワンポイントメイクの実習
				15	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 鼻	ワンポイントメイクの実習
授業の進め方・学習方法・課題				16	まとめ	
授業の前半でメイク方法について講義し、授業後半で実習を行う 学生は各自メイク道具を持ち込み、時間内に仕上げる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学 科 名	アジア言語科	必須・選択	選択必修	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
学 年	1年生	担当教員	今井真由美	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
科 目 名	PC実習 I	時間数	68時間	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集			7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
科目概要と科目到達目標				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Word処理技能検定3級取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(罫表書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成ー(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	はじめに マナーの必要性	身だしなみについての理解と実習
学年	1年生	担当教員	古沢通子	2	身だしなみについて おしゃれと身だしなみについて	身だしなみについての理解と実習
科目名	ビジネスマナー演習	時間数	34単位時間	3	身だしなみについて ビデオ撮影	身だしなみについての理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	身だしなみについて ビデオ撮影 チェック	身だしなみについての理解と実習
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	お辞儀 ・立ち方	美しい挨拶についての理解と実習
補助教材				6	お辞儀 ・立ち方 3つのお辞儀 ・使い方	美しい挨拶についての理解と実習
科目概要と科目到達目標				7	お辞儀 ①	美しい挨拶についての理解と実習
				8	お辞儀 ②敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
				9	お辞儀 ③最敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
社会人としての立居振舞や面接や初対面の方がへの挨拶の仕方など 基本的なビジネスマナーの理解と習得				10	お辞儀 ビデオ撮影	美しい挨拶についての理解と実習
				11	お辞儀 ビデオ撮影チェック	美しい挨拶についての理解と実習
				12	入退室の仕方 ・ドアの開閉の仕方 ・表情 ・身だしなみ等	入退室マナーについての理解と実習
				13	入退室の仕方 ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				14	入退室の仕方 ビデオ撮影チェック	入退室マナーについての理解と実習
				15	椅子の座り方 ・面接対応①	入退室マナーについての理解と実習
授業の進め方・学習方法・課題 授業前半には講義を行うが、後半はロールプレイングを行い、基本的な所作などを身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	椅子の座り方 ・面接対応②	入退室マナーについての理解と実習
				17	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応①練習	入退室マナーについての理解と実習
				18	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応②練習	入退室マナーについての理解と実習
				19	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				20	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
評価方法・成績評価基準				21	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
				22	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	言葉遣い ・敬語の使い方 尊敬語・謙譲語・丁寧語	敬語についての理解と実習
				24	言葉遣い ・敬語の使い方 間違った使い方 ・二重敬語	敬語についての理解と実習
				25	言葉遣い ・接客用語	敬語についての理解と実習
				26	言葉遣い 筆記テスト	敬語についての理解と実習
				27	言葉遣い 解答と解説	敬語についての理解と実習
				28	来客対応 ・案内の要領 ・応接室	来客対応についての理解と実習
				29	来客対応 ・エレベーター ・廊下	来客対応についての理解と実習
				30	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影①	来客対応についての理解と実習
				31	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影②	来客対応についての理解と実習
				32	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影チェック	来客対応についての理解と実習
実務経験教員の経歴				33	まとめ	
				34	試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	アジア言語科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6～P11 就職活動の心構え ①なぜ就職するのか②企業が求める人材とは③身だしなみ	就職活動についての基本知識
学年	1年生	担当教員	桑野知実/矢後達夫	2	SUCCESS P12～P16 就職活動の心構え①就職活動の流れ②就職活動のルールと諸注意③求職登録について	就職活動についての基本知識
科目名	就職実務 I	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17～P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	自己分析について理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析について理解と実習
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P24 ①現在までの自己史を作成しよう	自己分析について理解と実習
補助教材				6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析について理解と実習
				7	SUCCESS P27～29 ①職業を知る（業種と職種の理解）	自己分析について理解と実習
				8	SUCCESS P30～P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	志望動機について理解と実習
科目概要と科目到達目標				9	SUCCESS P32～P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職・営業)	志望動機について理解と実習
就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	SUCCESS P35～P37 情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	企業研究の方法を理解する
				11	SUCCESS P38～P39 企業研究の方法 ①就職課の利用②就職情報サイトの利用 ③就職情報誌について	企業研究の方法を理解する
				12	SUCCESS P40～P41 就活における電子メール使用の注意点 ①企業へのメールの書き方②返信の文例	企業研究の方法を理解する
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	企業研究の方法を理解する
				14	SUCCESS P43～P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	企業研究の方法を理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	企業研究の方法を理解する
自己分析や書類作成は学生の書いたものを教師が添削指導を行う。 面接指導は模擬面接を通して、何をどう話すべきかを学生みんなで考える。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	企業研究の方法を理解する
				17	SUCCESS P49～50 インターンシップのしくみ ①インターンシップ体験の活かし方	企業研究の方法を理解する
				18	SUCCESS P51～P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシート作成方法と実習
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	エントリーシート作成方法と実習
				20	SUCCESS P54～55 作成書類 ①履歴書の書き方①記入事項のポイント	履歴書作成方法と実習
評価方法・成績評価基準				21	SUCCESS P56～P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	SUCCESS P56～P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	履歴書作成方法と実習
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	時事問題の理解
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	時事問題の理解
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	時事問題の理解
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に關した法律	時事問題の理解
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	時事問題の理解
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	時事問題の理解
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	SPI対策
				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
実務経験教員の経歴				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				33	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策
				34	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策